

2010年度

科目名	宗教学B		
担当教員	貫名 讓		
配当	文 1	コード	51040
開期	後期	講時	金曜日1限
		単位数	2
授業テーマ	日本仏教の展開と親鸞(真宗)の教え		
目的と概要	<p>本学は「大乘仏教の教えと、真宗の宗祖・親鸞聖人の御教え」を理念として建てられた大学です。その理念を具現化するのが、宗派・情操教育の一環として行われる「お花まつり・報恩講」などの宗教行事と、宗教学という学問的体系として展開される「宗教学」(講義)です。どちらも慈悲の精神(相手を思いやる心)の重要性和、大乘仏教の真髓を究極のレベルにまで高められた親鸞聖人の人生観を通して、人としての心を学ぶ場です。</p> <p>そこで「宗教学B」の講義では、日本に仏教が伝わってきたところからみていき、奈良時代・平安時代・鎌倉時代と、仏教がどのように変遷・展開していったのかをみていこうと思います。そして、本学の建学の精神に深く関わる親鸞について、彼の人生観と思想をうかがっていきます。いま何が必要なのかを考えていくヒントにしてほしいと思っています。</p>		
成績評価法	総合評価(平常点・試験)		
テキスト	経験論の宗教学／荻野勝行・貫名讓共著／杉山書店		
参考書			
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：講義の概略と進め方 2. 日本仏教 3. 聖徳太子の仏教観 4. 南都(奈良)仏教 5. 平安仏教 6. 鎌倉新仏教 7. 親鸞の生涯 8. 親鸞の阿弥陀仏観、本願(仏の願い)と名号(名前) 9. 信心と念仏 10. 親鸞の人間観 11. 非僧非俗と妻帯生活 12. 在家仏教と御同朋・御同行の精神 13. 仏教の現代的意義 14. まとめ 15. 試験 			